

委員からの要望資料

○高橋紘士委員からの要望資料	・・・・・・・・・・	1
○猪俣好正委員からの要望資料	・・・・・・・・・・	3

平成16年度の地方財政の概要

平成16年度における主な地方財政指標

① 地方財政計画の規模	84兆6,669億円 (対前年度△1.8%)
② 地方一般歳出	68兆1,049億円 (対前年度△2.3%)
③ 一般財源総額	51兆4,592億円 (対前年度△0.9%)
④ 地方債	14兆1,448億円 (対前年度△6.2%)
⑤ 一般財源比率	60.8% (平成15年度 60.2%)
⑥ 地方債依存度	16.7% (平成15年度 17.5%)

平成16年度の歳出の状況

歳出総額 84兆6,669億円 (対前年度△1.8%)

(主な歳出項目の内訳)

一般行政経費	21兆8,833億円 (対前年度 4.1%)
うち国庫補助負担金等を伴うもの	10兆1,183億円 (対前年度 2.8%)
うち国庫補助負担金等を伴わないもの	11兆1,475億円 (対前年度△0.3%)
うち平成16年度一般財源化分	6,175億円 (—)
給与関係経費	22兆9,990億円 (対前年度△1.9%)
投資的経費	21兆3,283億円 (対前年度△8.4%)
公債費	13兆6,779億円 (対前年度△0.6%)

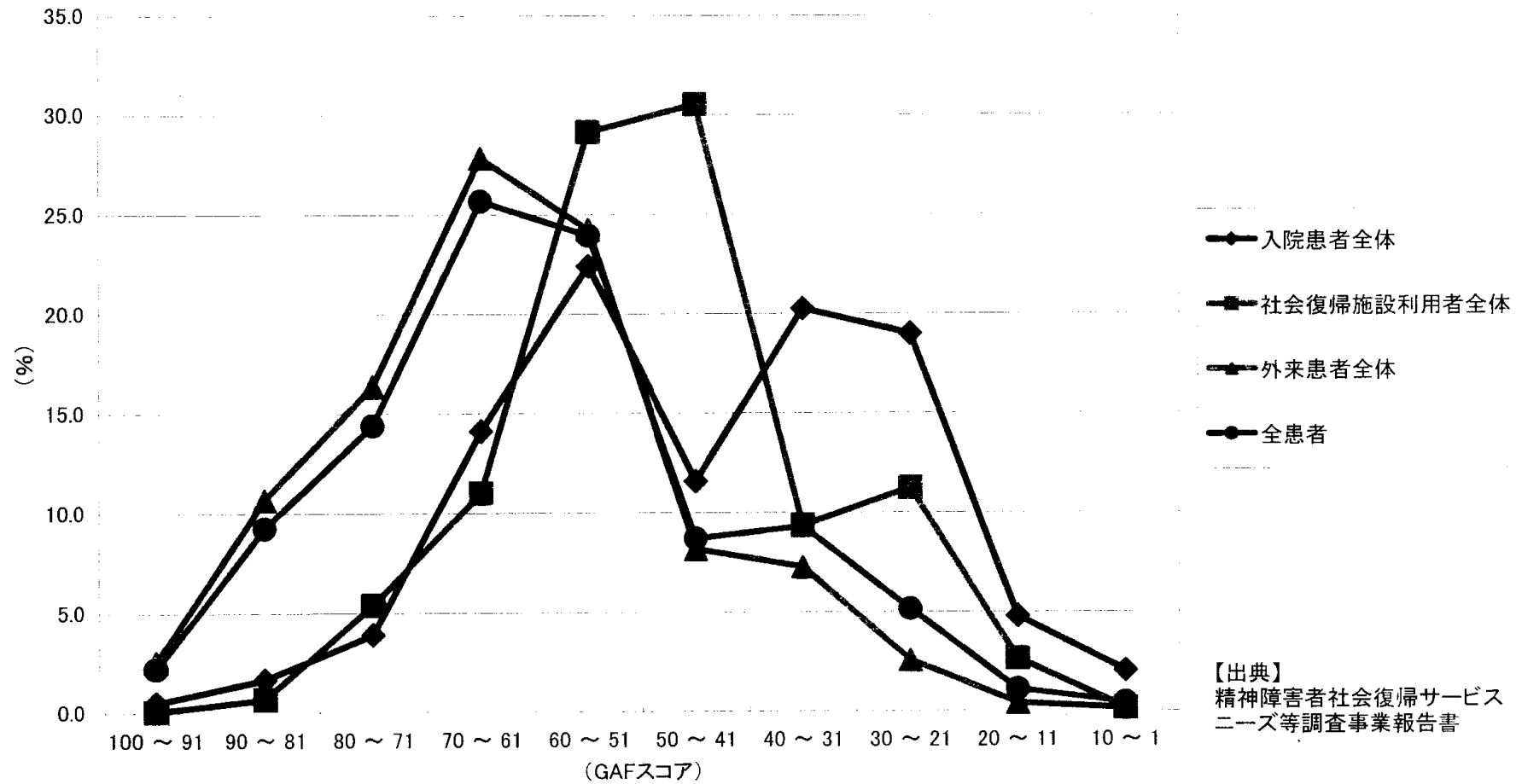
一般行政経費のうち国庫補助負担金等を伴うもの

所管府省の区分	平成16年度			対前年度		
	国庫分	地方負担分	合計	国庫分	地方負担分	合計
合 計	4兆7,446億	5兆3,737億	10兆1,183億	1,993億 4.2%	776億 1.4%	2,769億 2.7%
文部科学	1,698億	776億	2,474億	△188億 △11.1%	△167億 △21.5%	△355億 △14.4%
厚生労働	4兆1,666億	5兆1,175億	9兆2,842億	2,063億 5.0%	1,150億 2.2%	3,214億 3.5%
農林水産	1,770億	559億	2,329億	△273億 △15.4%	△49億 △ 8.8%	△323億 △13.9%
経済産業	613億	492億	1,106億	△111億 △18.0%	△88億 △17.8%	△198億 △17.9%
国土交通	173億	153億	326億	△4億 △ 2.2%	△0.2億 △ 0.1%	△4億 △ 1.2%
内閣府	601億	275億	876億	△35億 △ 5.9%	2億 0.6%	△34億 △ 3.8%
その他	924億	306億	1,230億	541億 58.6%	△72億 △23.6%	469億 38.1%

(※)平成16年度地方財政計画を基に算出。

33

GAFスコア分布



【出典】
精神障害者社会復帰サービス
ニーズ等調査事業報告書

G A F（機能の全体的評定）尺度

精神的健康と病気という1つの仮想的な連続体に沿って、心理的、社会的、職業的機能を考慮せよ。身体的（または環境的）制約による機能の障害を含めないこと。

コード（注：例えば、45、68、72のように、それが適切ならば、中間の値のコードを用いること）

100-91	広範囲の行動にわたって最高に機能しており、生活上の問題で手に負えないものは何もなく、その人の多数の長所があるために他の人々から求められている。症状は何もない。
90-81	症状がまったくないか、ほんの少しだけ（例：試験前の軽い不安）、すべての面でよい機能で、広範囲の活動に興味をもち参加し、社会的にはそつがなく、生活に大体満足し、日々のありふれた問題や心配以上のものはない（例：たまに、家族と口論する）。
80-71	症状があったとしても、心理的社会的ストレスに対する一過性で予期される反応である（例：家族と口論した後の集中困難）、社会的、職業的または学校の機能にごくわずかな障害以上のものはない（例：学業で一時遅れをとる）。
70-61	いくつかの軽い症状がある（例：抑うつ気分と軽い不眠）、または、社会的、職業的または学校の機能に、いくらかの困難はある（例：時にずる休みをしたり、家の金を盗んだりする）が、全般的には、機能はかなり良好であって、有意義な対人関係もかなりある。
60-51	中等度の症状（例：感情が平板的で、会話がまわりくどい、時に、恐慌発作がある）、または、社会的、職業的、または学校の機能における中等度の障害（例：友達が少ない、仲間や仕事の同僚との葛藤）。
50-41	重大な症状（例：自殺の考え、強迫的儀式がひどい、しょっちゅう万引する）、または、社会的、職業的または学校の機能において何か重大な障害（友達がいない、仕事が続かない）。
40-31	現実検討か意思伝達にいくらかの欠陥（例：会話は時々、非論理的、あいまい、または関係性がなくなる）、または、仕事や学校、家族関係、判断、思考または気分、など多くの面での粗大な欠陥（例：抑うつ的な男が友人を避け家族を無視し、仕事ができない。子どもが年下の子どもを殴り、家で反抗的で、学校では勉強ができない）。
30-21	行動は妄想や幻覚に相当影響されている。または意思伝達か判断に粗大な欠陥がある（例：時々、滅裂、ひどく不適切にふるまう、自殺の考えにとらわれている）、または、ほとんどすべての面で機能することができない（例：一日中床についている、仕事も家庭も友達もない）。
20-11	自己または他者を傷つける危険がかなりあるか（例：死をはっきり予期することなしに自殺企図、しばしば暴力的、躁病性興奮）、または、時には最低限の身の清潔維持ができない（例：大便を塗りたくる）、または、意思伝達に粗大な欠陥（例：ひどい滅裂か無言症）。
10-1	自己または他者をひどく傷つける危険が続いている（例：何度も暴力を振るう）、または最低限の身の清潔維持が持続的に不可能、または、死をはっきり予測した重大な自殺行為。
0	情報不十分